

1358

# 第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

軍機

自昭和十八年十一月三十一日  
至昭和十八年十一月三十一日

九月二十七日送付

8/8



1353

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(目次終)

(四) 釜下艦船部隊行動

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日	
航中	航中	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	航中	マニラ	航中										テ			ビ			ヤ				キ		八重山	
航中																		航中			セ			航中			航中			唐津	
																															一年
																															百三
																															百五
																															木曾丸
																															釜山丸



1362

# 第三南遣艦隊戰時日誌

## 第三南遣艦隊司令部

軍機

自昭和二十一年十一月十一日  
至昭和二十一年十一月十一日

海軍省海軍部  
第三南遣艦隊司令部  
日誌

十一月十一日送付

8/8

19.11.2  
日誌

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(一) 麾下艦船部

(四) 戰訓

五 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十八年十二月一日  
至昭和十八年十二月三日  
第三南遣艦隊戰時日誌

一 経過

(一) 敵情

南東方面ニ於ケル敵、反攻ハ益々熾烈化シ敵ハ十二月中旬以降  
ニューブリテン島西部ニ據点ヲ獲得シ同方面ノ制空ヲ制海  
權ヲ制スルニ至レリ  
南東方面ニ於ケル戰況ヲ反映シ非島方面特ニビサヤ、ミンダ  
ナオ地區ニ於ケル敵匪、恣行的活動ハ漸次活潑化セリ  
我が軍ノ情況

(二)

第二方面軍司令部ハ十一月一日夕六時ニ於テ統帥ヲ發動セリ  
十二月一日附 津輕 駆逐三六、四五、四六、艦隊編入同日及  
十五日附 九五四空永上 機各半隊増勢(計艦攻半隊水  
偵半隊 零観 一隊トナル)セラレ非島ノ防衛態勢遂次  
強化セラル

(三) 作戰指導

(イ) 作戰命令、要綱

島 菲 部 掃 第	隊 主	區 分 指 揮 官	兵 力	主 要 任 務	担 任 區 域
	3 K A	津 輕 準 一 百 五 哨 四 五 艇 潜	八 重 山 百 三 哨 三 天 艇 潜 四 天 艇 潜	全 作 戰 支 援	マヌバテ島南東端 Cakawacan, P... ハナ島南端 Naon... マヌバテ島南東端
木曾丸 第三京丸 第五十六掃州丸 七掃特 八掃特 蓋艇特 三九艇特			担任区域内ニ於テ 一敵艦艇航空機捕捉 撃滅	海上交通保護	

(一) 菲島方面ニ於ケル海上交通保護ニ関スル陸軍機ノ協力ニ関シ  
 十一月十七日附第十四軍司令部ト協定シ、ミンダロ海峽ヒサ  
 ヤシ海方面ヲ陸軍機、担任トセリ  
 機密菲島部隊命令第一三號 同一三號ハ十一月十四日附ノテ  
 以テ菲島方面ニ於ケル水陸海軍航空基地ノ急速設営  
 ニ関シ發令ス

(二) 軍隊區分及各部隊ノ任務



島 非		隊 部 北				
		隊 部 備 警	部 通 信	部 飛 空	隊 掃 揚	隊
令		司				
32ABJ	31K9 司令	31C9 司令	9549 司令	艦 唐 津 長		
32ABJ 司令 部 警 備 隊 第一號 東光外 第十一 京外	第三 警備隊 (ガク 派遣隊ノ除ク) 第一 十 五 號 奧 雷 艇 第三 警 備 隊 セブ 派 遣 隊	第三 土 通 信 隊	第九 五 四 航 空 隊 (南 部 派 遣 隊ノ除ク)	唐 津 一 興 炭 A 第十八 長 運 A 第一 一 長 運 B	四 十 二 驅 特	
二 海上 交 通 保 護	一 艦 艇 航 空 機 備 二 海上 交 通 保 護	担 任 区 域 内ニ於テ 一 警 備 隊 二 主 要 港 灣 及 航 空 基 地、防 備	五 主 要 港 灣 基 地 防 備 六 警 備	四 要 求 場 合 陸 軍 作 戦 協 力 海上 輸 送 支 援 及 敵 共 匪 ノ 脱 出 阻 止	三 敵 潛 利 用 基 地、搜 索 覆 滅	
同 右 線 以 南、 所 担 任 区 域 (ビヤ 地 区 並ニ 同 諸 島 海 域ノ 除ク)	同 右 線 以 南、 所 担 任 区 域 (ビヤ 地 区 並ニ 同 諸 島 海 域ノ 除ク)	マニラ 附 近 スピンラ 灣 附 近 レグスロ 附 近 バルデ 水 道 ビヤ 地 区		ビヤ 諸 島 海 域	北 海 担 任 区 域 及 ビ 各 地 区	

南 部 隊		附 屬	
長			
司 令 官		直 率	
第十三空軍 第三號驅逐特務隊 第五號驅逐特務隊 第九五四航空隊 南部後進隊 南西方面航空廠 カバヤ分工場	三敵利用基地、搜索 復讐 四、主要老灣基地、 防備	第三六共同隊 武 昌 丸 笠置山丸 マニラ運輸部 第百三經理部 第百三軍需部 第百三病院 第百三工作部 第百三施設部 南西方面航空廠	各個有任務
			岩、男
			測 量 補 給

部 隊

官

マニラ分工場
第十特別工作部
マニラ支部
第三氣象隊マニラ支隊
第三南進艦隊重務會議
第二三三刑務所
第四軍用郵便所
第三南進艦隊司令
部用輸送機

註

一 十二月一日附 津輕ヲ主隊ニ加フ

二 同日附 津輕ヲ主隊ニ加フ、甲五駆潜、甲六駆潜ヲ主隊ニ加フ

三 十二月十日附 津輕ヲ除ク

四 十二月十五日附 第十一衛所隊ヲ菲島南部部隊ニ加フ



第三三三號別根隊北隊部下艦艇部隊行動

三	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
ダバオ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ダバオ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
ダバオ	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中	航海中
渠	八																														
航海中																															

1481

一月

第三南遣艦隊司令部

第三南遣艦隊戰時日誌



自昭和十九年一月三十一日  
至昭和十九年一月三十一日

十月十七日送付



8/8

海軍省  
第三南遣艦隊司令部  
第八號  
ノ二五

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(イ) 麾下艦船部隊

(ロ) 戰訓

五 作戰經過概要

1372

(目次終)

昭和十九年一月一日 第三南遣艦隊戰時日誌  
昭和十九年一月一日

一 経過

(一) 敵情

南支那海ニ出沒スル敵潛艇數甚ニ帝國船舶ニ被害致增シ敵  
替ノ非島港瑪出入亦頻繁トナレリ

一月中旬敵機ハ高雄ヲ空襲シ下旬同港沖ニ磁氣地雷ヲ  
散布セリ

(二) 我が軍情

豪北方面ニ對スル作戰輸送ニ順調ニ進捗シ第三大師團ハ一月  
中旬同方面ニ集結ヲ完了セリ

南支那海ニ於テ敵潛ノ跳梁阻止ニ爲大海指三三三號ハ一月二十五  
日附ヲ以テ非島周辺ノ主要水道ニ對スル磁雷櫃ノ構成下令  
アリ

一月中旬以後、夕夕夕、指地、測量ヲ開始セリ

(三) 作戰指導

(1) 作戰命令ノ要綱



(1) 敵艦、菲島港灣出入、関元諸情報ニ基キ一月十日附命合作  
 第五四號ヲ以テ右港灣偵察攻撃ヲ勵行シニ敵設導  
 備ヲ發令シテ  
 敵艦第三南遣艦隊命令第六號(一月十日附)ヲ以テ決戰段階ニ處  
 スル教育方針ヲ發令シ聯合訓練夜間訓練等勵行セリ  
 (2) 軍隊區分及各部隊任務  
 第三南遣艦隊艦隊區分  
 (一月一日現在)

隊名 隊名 艦名 船(隊部隊)番號

八重山 津輕

第三十三特別  
根據地隊

- (一) 第一號東京丸
- (二) 第十三號東京丸
- (三) 第十三京丸
- (四) 第十一號驅逐特務艇
- (五) 第十五日之出丸
- (六) 八代丸
- (七) 第二號丸
- (八) 第十號丸
- (九) 第三十三號警備隊
- (十) 第十八號長運丸
- (十一) 與嶺丸

# 附屬

二三一一	(三) 第三長運丸 (四) 第五十六播州丸
二三一〇	(四) 第二京丸 (六) 第七號掃海特務艇
二三一九	(七) 第八號掃海特務艇 (八) 第五號驅潛特務艇
二三一八	(九) 第九號驅潛特務艇 (一〇) 第十號驅潛特務艇
二三一七	(一) 照尾丸 (二) 最上丸 (三) 隼丸
二三一六	(四) 海雲丸 (五) 第一百十四號真雷艇
二三一五	唐津
二三一四	第百三號哨戒艇
二三一三	第百五號哨戒艇
二三一六	第三十六號驅潛艇
二三一七	第四十五號驅潛艇
二三一八	第四十六號驅潛艇
二三一九	木曾丸
二三二〇	第九五四海軍航空隊
二三二一	第三十通信隊
	第三海軍運輸部 第百三海軍經理部

1376

菲 第一隊	主隊	區分 指揮官  3K5
第二隊 第三隊 第四隊 第五隊 第六隊 第七隊 第八隊 第九隊 第十隊	兵力 入重山 嚴島 第一隊 第二隊 第三隊 第四隊 第五隊 第六隊 第七隊 第八隊 第九隊 第十隊	主要任務 担任區域  全作戰支援  担任區域内於九 一級艦艇航空機 捕獲擊滅  マスハテ 島南東端 Calumuan. P. I. 及 島南西端 Mas. P. I.

菲島部隊兵力部署

二三二二

第百三海軍宣需部  
 第百三海軍之作部  
 第百三海軍施設部  
 第百三海軍刑務所  
 第百三海軍軍用郵便所  
 第百三海軍軍法會議  
 第百三海軍官室  
 第百三海軍官室



菲島南部部隊

隊

長

司令官 32AB9

第三警戒備隊

コセム派遣隊

司令部

警戒備隊

第一號東光丸

第十三京丸

第十三京丸

第三警備特務艇

第三警備特務艇

第九五四航空隊

南部派遣隊

第十二衛所隊

南西方面航空隊

コセム分工場

第三十六共同外

武昌丸

望置山丸

担任区域内航行

一敵艦艇航空機

二海上交通保護

三敵船利用基地

四主要港灣基地

五警戒備

六警戒備

コサヤ地区

同右線以南、班担

任区域

(コサヤ地区は同諸

島海域ヲ除ク)

測 量

附 属 部 隊

官

直 率

コミラ分二場	南西方面航空廠	第百三施設部	第百三工作部	第百三病院	第百三軍需部	第百三經理部	コミラ運輸部	草	海	最上	十勝	八代	第ニ鶴	第十五日之出	照風	第十六日正
								丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸

各 國 有 任 務

補

給

第五特別工作部  
 コマンド支那部  
 第三新象隊  
 コマンド支隊  
 第三南運艦隊  
 軍務會議  
 第三三刑務所  
 第五應用郵便所  
 第三南運艦隊  
 司令部下陸運送科

菲島南部部隊兵力部署

區分		警備部隊			哨戒部隊		航空部隊	
指揮官		才警備隊	木口警備隊	十二衛所隊	哨戒部隊		航空部隊	
P 22 ab9		派遣隊長	派遣隊長	衛所隊長	第一十二空丸 第一號東光丸 第五號驅逐艦 第五號驅逐艦 第五號驅逐艦		南部隊派遣隊長	
兵力		司令部 警備隊	派遣隊	衛所隊	第一十二空丸 第一號東光丸 第五號驅逐艦 第五號驅逐艦 第五號驅逐艦		南部隊派遣隊長	
主要任務		担任区域内於九 一敵艦艇航空機捕促攻撃 二警備 三主要港灣防備	附近海上警備 一飛行場ノ警備 二米田附近ノ治安警備 三附近海上警備 四海上交通保護 五敵潛米艦利用 基地ノ搜索 六覆滅	「シライ」島泊地防備	一担任海域對空對潛哨戒 二海上交通保護		一對空對潛哨戒 二海上交通保護	



記事

(艦隊の機) 三枚 潜水艦利用基地 搜索覆滅  
(水偵三機)

一、船団(輸送船)ノ護衛ニ関シ其ノ都度特令ス

ニ、バシラン島「イサベラ」「マルソー」「ラミタシ」「サンタクラヌ」ニ「サンボアンガ」派遣隊

ヨリ「クワイタウイ」島「ボンガオ」及「シアン」島ニ「ボ」派遣隊ヨリ警備隊

兵力ヲ派遣 駐屯セルモトス

三、艦隊ニ機又ハ一機ヲ出来得ル限リ常時「サンボアンガ」ニ派遣セルモトス 状況ニ

ヨリ水偵一部ヲ「レゴ」ト「沼地」ニ派遣セルコトアルベシ

1382





1385

二月

第三南遣艦隊司令部

第三南遣艦隊戰時日誌

十月三十一日送付

軍機

昭和十九年二月九日

海軍史資料調査部

二

8/8

19.10.31



目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(一) 麾下艦船部

(四) 戰訓

五 作戰經過概要

(目次終)

中印太平洋方面の戦況  
支那の戦況  
支那の戦況

自昭和十九年二月一日  
第三南遣艦隊戦時日誌

一 経過

(一) 敵情

敵は二月上旬「マリアナル」群島の要点ヲ占領シ中旬「トラック」下旬「マリアナル」群島ヲ空襲セリ  
南支那海及比島周辺ニ於ケル敵潜水艦、跳梁益々激化ス

(二) 我が軍情

聯合艦隊主力ハ二月中旬支那内地及昭南方面ニ転進セリ  
中部太平洋方面ノ戦局ニ鑑ミ第一航空艦隊、菲島方面  
進出ハ取止トナリ「マリアナル」群島方面ニ転進セリ  
菲島周辺機雷敷設、為嚴島(十日附)及津軽(二十三日附)  
菲島部隊ニ編入(復敵)セラル 輸送船第十六日正外及特  
設駆潜艇十勝丸入代外 照風丸下旬「マリアナル」到着セリ  
「タウイ」タウイ」泊地ノ測量二月未完了セリ

(三) 作戦指道

1324



(1) 作戰命令、要綱

(1) 機密非島部隊命令作第五六號

(10) (三月二十五日附) 非島周辺ニ於ケル機雷堰構成ノ件

(2) 戦局、變化ニ應ジ敵艦、跳梁ニ鑑ミ二月下旬艦隊司令部

軍司令部間ニ於テ情況判断及意見ヲ交換スルト共ニ防

衛態勢力、緊急強化對策ニ関シ聯合艦隊南西方面

艦隊各司令部及中央ニ要望事項ヲ上申セリ

(3) 戦局、變化ニ應ジ中樞航空基地、要塞化ヲ促進スル為

機密非島部隊命令第ニ號(二月二十五日附)ヲ以テ航

空基地設営要領、一部ヲ変更セリ

(4) 軍隊区分、各部隊ノ任務





隊名		隊番號	艦隊	艦隊区分	部隊番號
第三十二特別根據地隊			八重山	津	輕
二二二	(一) 第一號東光丸 (二) 第十一號丸 (三) 第十三號丸	二二二	(四) 第十五號丸 (五) 第十七號丸 (六) 第十八號丸	(七) 第十九號丸 (八) 第二十號丸	(九) 第二十一號丸 (十) 第二十二號丸
二三一	(一) 興嶺丸 (二) 第十八號丸 (三) 第二十八號丸	二三一	(四) 第三十號丸 (五) 第三十一號丸 (六) 第三十二號丸	(七) 第三十三號丸 (八) 第三十四號丸	(九) 第三十五號丸 (十) 第三十六號丸
二三二	(一) 第八號掃海特務艇 (二) 第九號驅逐特務艇	二三二	(三) 第十號驅逐特務艇 (四) 第十一號驅逐特務艇	(五) 第十二號驅逐特務艇 (六) 第十三號驅逐特務艇	(七) 第十四號驅逐特務艇 (八) 第十五號驅逐特務艇
二三三	(一) 照風丸 (二) 最上丸 (三) 隼丸	二三三	(四) 海雲丸 (五) 第一百零四號更雷艇		
二三四	津	二三四	唐		

三月  
第三百三號自來艇





第三十特別根據地隊麾下艦艇行動

二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日											
テ										ビ										ヤ										キ										第一東支隊
カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										
カバオ	哨戒	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										
カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										
カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										
カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										
カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										
カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	カバオ	航海中	第一東支隊										

海軍機密調査部長

第三南遣艦隊機密第八號ノ二七

軍機

昭和十九年三月一日

昭和十九年三月一日

昭和十九年三月一日

十一月九日送付



第三南遣艦隊戦時日誌

第三南遣艦隊司令部

1394

新

三月

目次

一 經過

二 人員、現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麻生大艦船部隊行動

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(目次終)

自昭和十九年三月三十一日第三南遣艦隊戰時日誌

一 經過

(一) 敵情

敵ハ「マーシャル」群島、要点占領以來「トラック」及「マリヤナ」群島ニ對スル空襲ヲ激化シ之ト並行シ各所ニ執拗ナル反攻ヲ開始セリ近時南支那海「セレベス」海及菲島周邊海域ニ於テ敵艦ヲ出現數ハ急激ニ増加其「跳梁」ハ著シク頻數トナレリ尚菲島内敵艦ハ寄港敵艦ニ依ル補給補充等ニ依リ其裝備ヲ強化シ漸次勢力ヲ統合組織化ヲ行ヒツマアリ

(二) 我が軍ノ情況

我が軍兵力配備(兵力部署係)別紙ノ通  
菲島周辺及敵艦出入港灣、狭水道等機雷敷設ノ為敷設部隊編成(「嚴島」津輕「八重山」掃特入)急速敷設ヲ実施ス

三月

1336

第三十六共同外ヲシテ艦隊泊地タル「タウイタウイ」湾内ノ測量ヲ実施ス  
 航空基地整備計畫ニ基キ急速整備ノ為一部兵力ヲ充當  
 実施促進ヲ計ル  
 「タウイタウイ」泊地整備計畫ニ據リ第三十二特別根據地隊司令  
 官全般統制シ整備ヲ実施ス  
 第三十號掃海艇編入サル

(三) 作戰指導

(1) 作戰命令ノ要綱

1) 機雷礁構成計畫 (機雷菲島部隊命令作第六二號)

敵潛通過及利用ノ算大ナル狭水道、港灣ニ対スル機雷礁構成

(八重山、稀特入) (別紙添)

二月実施、機雷菲島部隊命令作第五二號ニ關聯

(2) 「タウイタウイ」泊地防備計畫 (機雷菲島部隊命令作第五二號)

「タウイタウイ」ヲ艦隊泊地トシテ防備ヲ強化整備スルニアリ

航路標識、見張所、防備衛所、防柵、水中磁氣探知器、管制機雷設置



(3)

務習堰構成  
諸施設整備

對潛作戦

(菲島部隊曾合作第一五三號)

敵潛跳梁頻繁

菲島部隊

對潛艦艇及潜水

部隊全力ヲ以テ對潛作戦實施ス



0057

隊 部 北 島 菲				主 隊		區 分 指 揮 官 兵 力
隊 部 備 警		部 通 信	部 航 空	隊 部 蕩 掃 一 第		
司				3 K F		
31kg 司令		31cg 司令	954kg 司令	艦 唐 津 長 津 興 嶺 丸		八重山、津輕、嚴島、隼
第三十散警備隊 (セブ派遣隊除く) 第三十一散警備隊 (セブ派遣隊)		第三十一通信隊	第九五四航空隊 (南部派遣隊除く) 第十長運丸 第十一長運丸	最上丸 照風丸 第四十號驅逐特務艇 第三十九號驅逐特務艇 第三十八號驅逐特務艇 第一號掃海特務艇 第二號掃海特務艇 第五十六播州丸 第七號掃海特務艇 第八號掃海特務艇 第九號掃海特務艇 第十號掃海特務艇		第一百三號哨戒艇 第一百五號哨戒艇 第一百六號哨戒艇 第一四五號驅逐艦 第一四六號驅逐艦
担任區域内於 一警備 二主要港灣及航空 基地ノ防備			六警備 五主要港灣基地 防備 海上輸送支援及 敵兵匪脱出阻止	担任區域内於 一敵艦艇航空機ノ 捕捉撃滅 二海上交通保護 三敵潛利用基地ノ 搜索覆滅 四要ノ場合陸軍 作戰ニ協力		全 作 戰 支 援
マニラ附近 スピツ湾附近 「レガスピ」附近 「バルテ」水道 「ビサヤ」地区			ビサヤ諸島 海域 (附圖参照)	「マスバテ」島南東端 Cadawan P. 及 ナイ島南西端 「マニラ」結ブ五ノ度 八度線以北ノ3K担任 區域及「ビサヤ」地區 (附圖参照)		担任區域

檢案菲島部隊命令作第20號別紙  
 菲島部隊兵力部署



第三十特別根拠地隊艦下艦船行動

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	
第10特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第11特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第12特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第13特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第14特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第15特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第16特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第17特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第18特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第19特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															
第20特別根拠地隊艦下艦船行動	マニラ																															

三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	日
架	上	渠	船	オ	カ	ナ	カ	キヒテ	マニラ	護イ	船	園	ラニマ	掃	掃	掃	ラニマ	護イ	船	園	セ	掃	掃
マニラ	自修	マニラ		渠	入	ニ	渠	船	部	作	ユ	ニ	ロー	マニラ	哨	掃	ラニマ	哨	掃	ラニマ	マニラ	掃	掃
哨	掃	ラニマ	イ	護	セ	掃	セ	掃	イ	護	マニラ	掃	掃	掃	掃	マニラ	哨	掃	ラニマ	マニラ	掃	掃	
セ	イ	護	マニラ	設	敷	ラニマ	渠	入	渠	船	ユ	ニ	ロー	マニラ	護	セ	掃	イ	護	マニラ	掃	掃	
イ	護	ラニマ	哨	掃	ラニマ	哨	掃	掃	掃	マニラ	哨	掃	ラニマ	掃	掃	掃	掃	掃	マニラ	イ	護	掃	掃
ラニマ	飛	哨	マニラ	飛	哨	ラニマ	飛	哨	マニラ	護	マニラ	掃	掃	イ	護	セ	掃	イ	護	ラニマ	飛	哨	掃
護	イ	オ	バ	ダ	イ	護	各	護	セ	掃	護	マニラ	掃	掃	掃	ラニマ	掃	掃	ラニマ	飛	哨	掃	掃
渠	入	キヒテ	護	マニラ	キヒテ	マニラ	イ	護	テ	バ	ス	マ	掃	掃		ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	掃
掃	掃	ト	ツ	ダ	ク	掃	掃	テ	ビ	マ	キ	マニラ	掃	掃	セ	イ	護	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	掃
護	イ	ラニマ	イ	護	グ	セ	護	イ	グ	セ	護	イ	グ	セ	護	イ	護	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	ラニマ	掃
哨	掃	ラニマ	航	鬼	マニラ	護	マニラ	掃	掃	セ	掃	イ	護	マニラ	掃	掃	掃	掃	掃	掃	掃	掃	掃
イ	護	グ	セ	護	マニラ	イ	護	セ	イ	護	マニラ	掃	掃	セ	イ	護	グ	セ	護	ラニマ	掃	掃	掃

第一掃掃部隊  
 第二掃掃部隊  
 第三掃掃部隊  
 第四掃掃部隊  
 第五掃掃部隊  
 第六掃掃部隊  
 第七掃掃部隊  
 第八掃掃部隊  
 第九掃掃部隊  
 第十掃掃部隊  
 第十一掃掃部隊  
 第十二掃掃部隊  
 第十三掃掃部隊  
 第十四掃掃部隊  
 第十五掃掃部隊  
 第十六掃掃部隊  
 第十七掃掃部隊  
 第十八掃掃部隊  
 第十九掃掃部隊  
 第二十掃掃部隊